

Scopus 2006 年 9 月リリースの新機能

Scopus が 2006 年 9 月 22 日にバージョンアップされ、特許という新しい切り口からの引用情報の入手が可能になりました。利用者の利便性を向上する機能改善と併せて主な新機能をご紹介します。

1. Scopus の抄録ページに、特許情報からの引用数が表示されるようになりました。
2. Citation Tracker で分析できる文献数が 1,000 件に拡大されました。
3. チャット形式でリアルタイムにサポートできる、オンライン技術サポートサービスが追加されました。

1. Scopus の抄録ページに、特許情報からの引用数が表示されるようになりました。

Scopus では、学術ジャーナルだけではなくウェブや特許情報も同時に横断検索することができます。この特徴的なコンテンツと、Scopus の強力な引用機能を活用して、**Abstract + Refs** ページに特許からの引用情報を表示できるようになりました。これにより、文献が特許へ応用されている状況を確認できるようになりました。

The screenshot shows the Scopus interface for a specific article. The article title is "Honodisperse FePt nanoparticles and ferromagnetic FePt nanocrystal superlattices". The authors listed are Sun, S., Murray, C.B., Weller, D., Folks, L., and Moser, A. The abstract describes the synthesis of monodisperse iron-platinum (FePt) nanoparticles. On the right-hand side of the page, there are two panels. The top panel, titled "Cited By since 1996", indicates that the article has been cited 1289 times in Scopus. The bottom panel, titled "Cited By - Patents", shows that the article has been cited 19 times in patents. This panel is highlighted with a red rectangular box.


引用の対象となる特許庁は以下のとおりです。

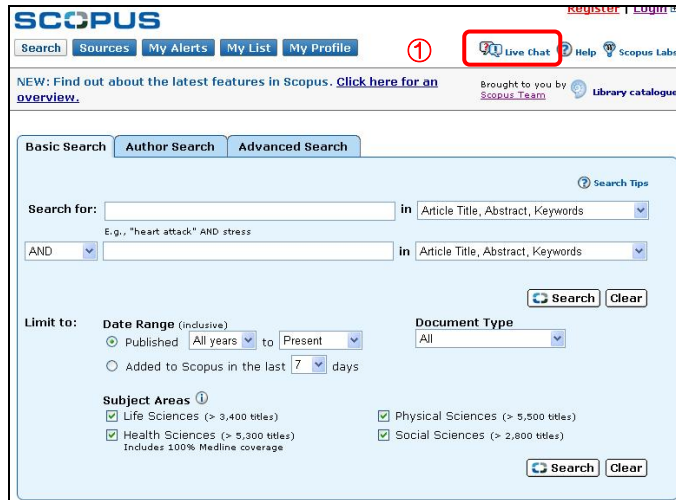
- USPTO (米国特許商標庁)
- EPO (ヨーロッパ特許庁)
- WIPO (世界知的所有権機関)

2. Citation Tracker で分析できる文献数が 1,000 件に拡大されました。

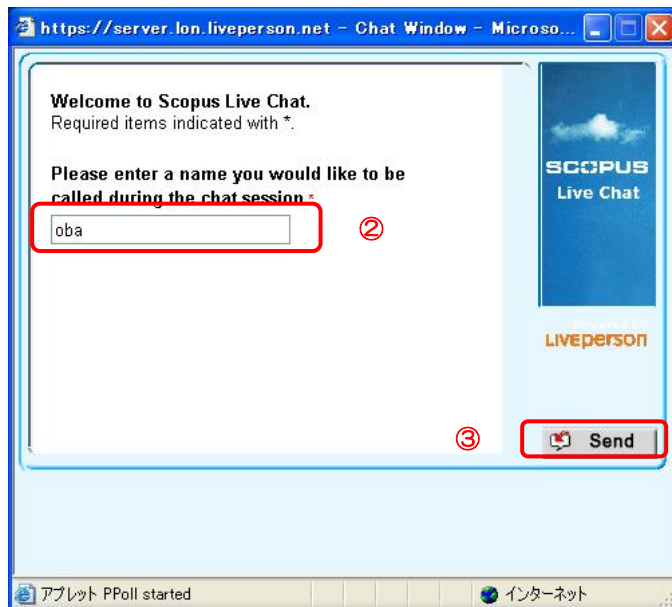
Citation tracker (引用分析機能) は、ユーザーが選択した論文の集合に対して、年別の被引用回数の一覧を表示できる画期的な機能です。これまでは、550 件の文献を一括して分析することができましたが、今後は 1,000 件まで分析することが可能になりました。Scopus の Author Identifier (著者識別機能) では約 2,000 万の著者の文献をグルーピングしていますが、その 99.99%にあたる著者の文献を一括して分析することが可能となりました。

3. チャット形式でリアルタイムにサポートできる、オンライン技術サポートサービスが追加されました。


Scopus の画面からチャット機能を活用してヘルプデスクに問い合わせができる  Live Chat サービスが開始されました。サポート体制は、月曜日から金曜日まで、英語のみの対応となっております。



ステップ1:  Live Chat をクリックします。



ステップ2: チャット用の画面が開きますので、お名前を入力してください。

ステップ3:  をクリックしてください。しばらくすると、担当者からのメッセージが表示されます。